

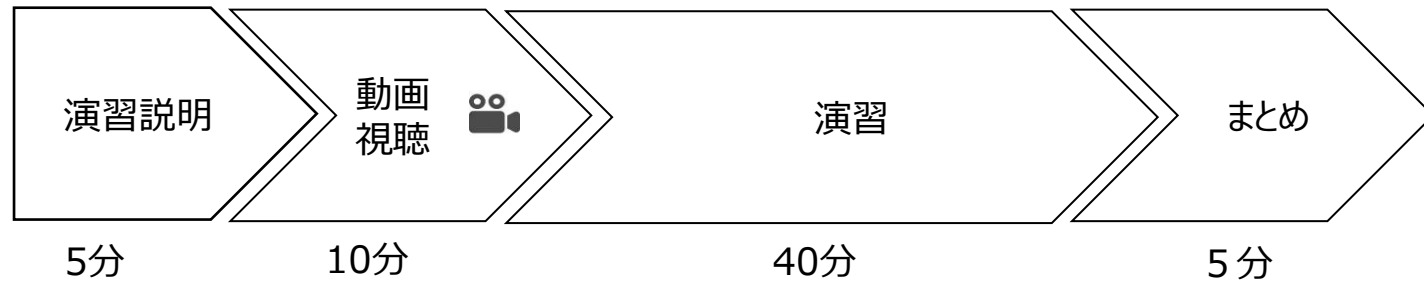
# 基本的な情報収集

- ・ 行 動 を 見 る 視 点

# この時間で学ぶこと

- 強度行動障害で困っている人の行動は、立場や状況によって様々な定義をすることができます。
- 本当に困っているのは本人であることを確認します。
- 本人の困難感には障害特性が関連しており、関連する行動に注目して情報収集することで本人の情報処理のつまずきに気づくことが出来ることを確認します。
- 本人の特性を把握し、適切な環境を提案することが有効な支援のヒントになります。

# この時間の流れ



- 動画を見ながら、講師と一緒にどのような行動に注目すべきかを確認していきます。
- 行動チェックシートの使い方を学びます。


# 「特性を把握する」という視点

- 個別の「障害特性」に対して周囲の「環境要因」がミスマッチな場合に、その環境に対しての不適応行動が生じることがあります
- 本人は困らせている人ではなく、困っている人という視点が重要です
- 困っていることに対する合理的配慮が支援の基本となります
- その場合の合理的配慮は、「目で見えてわかる支援」を活用することがスタンダードとなっています

# 行動を見る視点の大切さ

- ここまでの講義で、強度行動障害の状態にある人たちは、自分の気持ちをうまく訴えられない特性があることを学びました。
- うまく訴えられない人たちのことを理解するためには、行動が手がかりになります。
- 行動をきちんと観察することで、本人の訴えたいことだけでなく、障害の特性を理解することにもつながります。
- ここでは、具体的な行動をどんな視点で観察したらよいかを学んでいきます。

# 田中さんの事例

- 田中さんの基本情報の確認
- 動画の視聴 

# 演習 | 行動に注目する

「行動チェックシート（アセスメント演習用）」を使って、行動の注目の仕方について学んでいきましょう。

行動チェックシート（アセスメント演習用）

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア：視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ：人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ：相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ：周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ：周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
		カ：危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	( )
コミュニケーション	理解が難しい	キ：言葉で指示しても行動できない	✓	ヘルパーの声がけだけでは次の行動に移れない
		ク：言葉で指示されたこと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ケ：相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）	✓	( )
	発信が難しい	コ：行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	( )
		サ：言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ：言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス：やりとりが噛み合わない		
		セ：やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声かけにはエコリアで答えるだけ
		ソ：唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ：やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ：自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		ツ：予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ：自分のルールを変えようと混乱することが多い		
		ト：日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ：活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	( )
	物の一部に対する強い興味	ニ：特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
		ヌ：自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ：細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ：耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	( )
		ハ：眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
		ヒ：特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	( )
		フ：著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ：特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いを入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ：クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

# 社会性の特徴

社会性の特徴について、どのような行動をさすのか一緒に確認していきましょう

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い	
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	


	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
	イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
	ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
	オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
コミュニケーション	カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	( )
	キ: 言葉で指示しても行動できない	✓	ヘルパーの声がけだけでは次の行動に移れない
	ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言っててもやめられない
	ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコーリア)	✓	( )
	コ: 行動や仕事などで自分の気持ちを現わす	✓	( )
	サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	ス: やりとりが合わない		
	セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声がけにはエコーリアで答えるだけ
	ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい		
	チ: 自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水道びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
	ツ: 予定の変更で混乱することが多い		
	テ: 自分のルールを変えたと混乱することが多い		
	ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
	ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	( )
	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
感覚	物の一部に対する強い興味		
	エ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
	ネ: 細かいたが気になるややるべきことができないことがある		
	ハ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	( )
	ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き (基本情報より)
	ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	( )
	フ: 辛い・痛・刺激の強い味を好む、同じものはばかり食べる、など行動がある		
	ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
	ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用職、身体が動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた



# 例えば このような行動に注目します

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	( )

# 社会性の特性

- 動画を見てみましょう 

# コミュニケーションの特性

コミュニケーションの特性について、どのような行動をさすのか一緒に確認していきましょう

	例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓ ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓ ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）	✓ ( )
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓ ( )
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない	
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない	
		セ: やりとりが続かない	✓ ヘルパーの声かけにはエコリアで答えるだけ
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある	

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
	イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
	ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
	オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
コミュニケーション	カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	( )
	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
	ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
	ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）	✓	( )
	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	( )
	サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	ス: やりとりがかみ合わない		
	セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声かけにはエコリアで答えるだけ
	ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	タ: やることがないときにワロワロしている、じっとしている		
	チ: 自分から動くことができない	✓	構いつままり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
	ツ: 予定の変更が混乱することが多い		
	テ: 自分のルールを変えようと混乱することが多い		
	ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
	ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	( )
	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
感覚	ハ: 目を蓋ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	( )
	ヒ: 揺しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに反応する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
	ビ: 特定の感触に反応する、極端に嫌がる、または感じないような行動がある	✓	( )
	ホ: 辛い食べ物、刺激の強い味を好み、同じもののばかり食べる、などの行動がある		
	ヘ: 特定の臭いを嫌がる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
	ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用で、身体の動きが方に特徴がある	✓	活動の途中公園の構いつままり揺れていた

# 例えば このような行動に注目します

		例	✓	本人の具体的な行動
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）	✓	（ ）
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	（ ）
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声かけにはエコラリアで答えるだけ
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		

# コミュニケーションの特性

- 動画を見てみましょう 

# 想像力の特徴

想像力の特徴について、どのような行動をさすのか一緒に確認していきましょう

	例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		チ: 自分から動くことができない	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い	
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い	
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い	
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある	

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
	イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
	ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
	オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
	カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	( )
コミュニケーション	キ: 言葉で指示しても行動できない	✓	ヘルパーの声かけだけでは次の行動に移れない
	ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
	ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す (エコリア)	✓	( )
	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	( )
	サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	ス: やりとりが合わない		
想像力	セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声かけにはエコリアで答えるだけ
	ソ: 言葉に話し始めたり、黙り込むことがある		
	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
	チ: 自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
	ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
	ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
	ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	( )
	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
感覚	ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大声で叫ぶ。などの行動がある	✓	( )
	ハ: 覗き見る、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラした光を嫌がる。などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き (基本情報より)
	ヒ: 特定の感触に反応する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	( )
	フ: 辛い・痛・臭い、刺激の強い味を好み、同じものばかり食べる。など行動がある		
	ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いを入れない場所がある。などの行動がある		
	ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

# 例えば このような行動に注目します

		例	✓	本人の具体的な行動
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		( 柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない )
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		

# 想像力の特徴

- 動画を見てみましょう 



# 感覚の特性

感覚の特性について、どのような行動をさすのか一緒に確認していきましょう

	例	✓	本人の具体的な行動
感覚	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	( )
	ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
	ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	( )
	フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
	ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
	ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

	例	✓	本人の具体的な行動
社会性	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
	イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
	ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
	オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
コミュニケーション	カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	( )
	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	ヘルパーの声がけだけでは次の活動に移れない
	ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わりと言ってもやめられない
	ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコリア）	✓	( )
	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	( )
	サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	ス: やりとりが合わない		
	セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声がけにはエコリアで答えるだけ
	ソ: 言葉に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
	チ: 自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
	ツ: 予定の変更で混乱することが多い		
	テ: 自分のルールを覚えることと混乱することが多い		
	ト: 目標が変更されると混乱することが多い		
	ナ: 活動の途中でやめたり、変更することができない	✓	( )
	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
	ネ: 物の一部に対する強い興味		
感覚	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	( )
	ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
	ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	( )
	フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
	ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
	ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

# 例えば このような行動に注目します

		例	✓	本人の具体的な行動
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	( )
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	( )
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

# 感覚の特性

- 動画を見てみましょう 

# 演習 | グループワーク

グループの中で本人の具体的な行動を共有してみましょう。

行動チェックシート（アセスメント演習用）

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	ヘルパーが話しかけてもヘルパーの方を向かない
		イ: 人との関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する		
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない	✓	ヘルパーを置き去りにして一人で走って行く
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない	✓	周囲の安全を気にしている様子がない
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する	✓	( )
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示しても行動できない	✓	ヘルパーの声がけだけでは次の行動に移れない
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	ヘルパーが終わわりと言ってやめられない
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）	✓	( )
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	( )
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない		
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない	✓	ヘルパーの声がけにはエコラリアで答えるだけ
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	柵につかまり揺れる、水遊びなどを自分でやめて次の活動に移ることができない
		ツ: 予定の変更には混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 目線が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない	✓	( )
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある	✓	水へのこだわりがある
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない		
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大声で叫ぶ、などの行動がある	✓	( )
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていないような行動がある	✓	( )
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある	✓	活動の途中公園の柵につかまり揺れていた

# 行動に注目すること

- この後の演習では、「水遊びを止められて自傷をする」という田中さんの行動について、その背景を探っていき、必要なサポートを整理します。
- しかし、水遊びや自傷だけに注目するのではなく、田中さんがさまざまな苦手さをもっていることに気がつきましたか。
- 検討すべき行動を探すためだけではなく、特性に気づくためにも客観的な観察が必要です。

# まとめ

本人の行動は「困っている」サインかもしれません

- 本人の行動をヒントに
- 特性に気づき
- 適切な支援を組み立てていくことで



**支援も本人の活動も成功しやすくなります**